

経営比較分析表

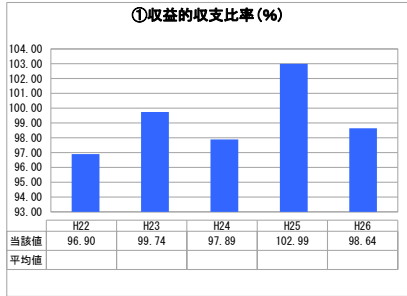
佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.07	100.00	2,930

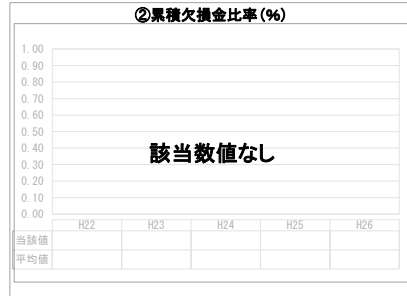
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,728	24.49	397.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,850	0.72	2,569.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

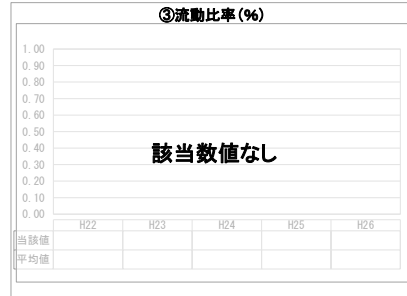
1. 経営の健全性・効率性



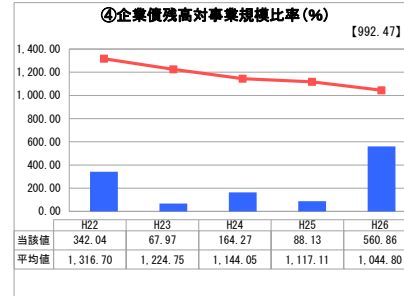
「単年度の収支」



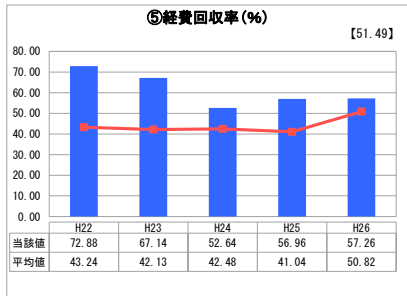
「累積欠損」



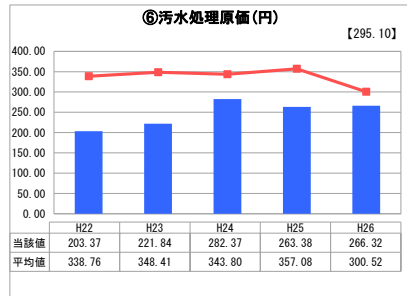
「支払能力」



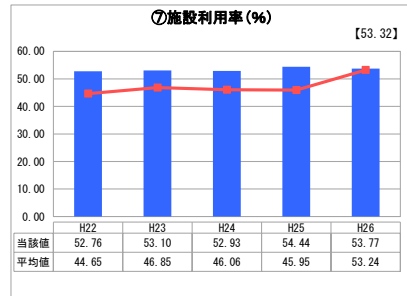
「債務残高」



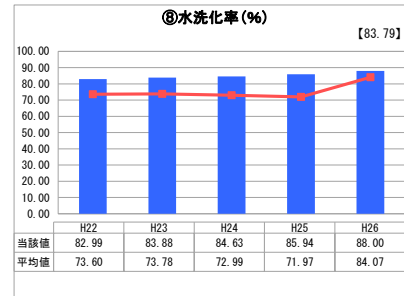
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

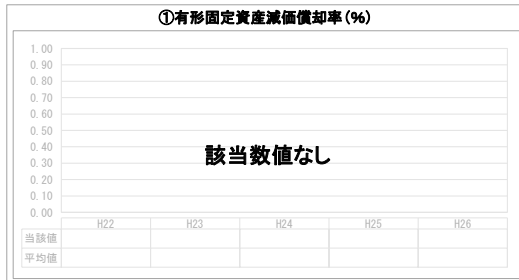


「施設の効率性」

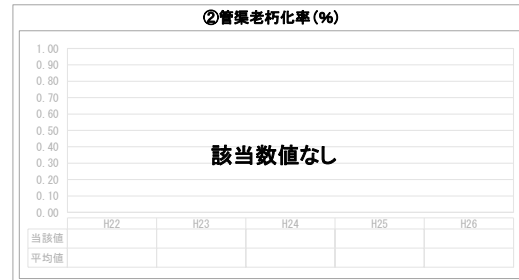


「使用料対象の捕捉」

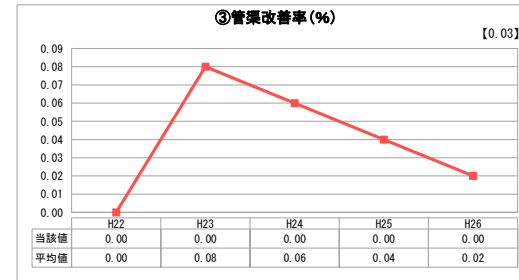
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率は、経年指標を見れば100%前後で推移しているが、依然として一般会計からの繰出金に依存している。

・企業債残高対事業規模比率、経費回収率、汚水処理原価、水洗化率については、全国平均や類似団体平均より良好な数値となっている。
経費回収率が100%を大幅に下回っているのは、経年劣化による施設の維持管理費が増加したことによる。

・施設利用率は全国平均及び類似団体平均と同水準の指標となっている。

2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水施設は、平成11年の供用開始から15年が経過している。管路施設については真空樹の真空弁及びコントローラ等の耐用年数が経過し、機器に不具合が生じ始めているため更新時期を迎えている。また、処理施設については硫化水素によるコンクリートの腐食と機械・電気設備についても経年劣化による能力の低下がみられる。

全体総括

平成27年度から更新事業を導入するため、その財源を確保するとともに、維持管理費の軽減に努める。
また、未接続世帯への接続推進と経営健全化に向けた公営企業法の適用の取組みを検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。